

研修名	総合課程 中堅事務 【集合】 (昭和49年度～)					
目的・重点事項	<p>一般事務系の係長として必要となる国土交通行政全般にわたる基礎的な知識及び素養の修得並びにこれらに関する能力の向上を図ることを目的とする。</p> <p>以下の点を重点項目とする。</p> <p>① 一般事務系の係長として国土交通行政に携わる上で必要となる基本法令及び経済学・企業会計等の知識の修得</p> <p>② 国土交通行政全般に関わる政策の基本的な知識の修得</p> <p>③ 一般事務及び一般教養としての接遇のあり方等に関する基礎的知識の修得</p> <p>④ 事例研究による班別討議、レポート作成、全体討議等を通じた、職場でのコミュニケーションの取り方、部下の指導方法及び業務管理並びに政策課題に関する知識の修得及び問題解決能力の向上</p> <p>⑤ ロジカルシンキング演習を通じた、業務を遂行する上で不可欠な論理的思考力、説明力、説得力等の向上</p> <p>⑥ コーチングによる自己啓発、意識改革</p>					
対象者	国土交通省（本省、地方整備局、北海道開発局、地方運輸局、地方航空局、外局等）の係員級の事務系職員のうち、係長に準ずる程度の事務能力を有すると認められる者					
定員(人)	国土交通省	他府省	地方公共団体	独立行政法人等	団体	計
	40					40
研修期間	161.0時間 32日間			令和5年 8月22日(火)～ 令和5年 9月22日(金)		
カリキュラム内容 (予定時間)	<p>1. 講義 (123.0)</p> <p>① 憲法、民法、行政法、行政手続法・行政救済法、国家賠償法、国家公務員法、地方自治制度、公文書管理法、国有財産法、土地収用法 (53.0)</p> <p>② 経済学、日本経済の動向、企業会計(複式簿記)、我が国の財政の現状 (22.0)</p> <p>③ 国土交通行政の現状と課題、関係法令(道路法、河川法等)、コンプライアンス、予算事務、契約事務、会計検査、障害者と共に働く等 (37.5)</p> <p>*国土交通行政の現状と課題には、現地講義を含む。</p> <p>④ コスト意識とサービス理論、ストレスケア、アンガーマネジメント (7.5)</p> <p>⑤ 講話、特別講義 (3.0)</p> <p>2. 課題研究等 (35.5)</p> <p>ロジカルシンキング、コーチング、事例研究(講師指定の職場における課題及び政策課題の班別・全体討議)、効果測定</p> <p>3. その他 (2.5)</p> <p>入校式、修了式、オリエンテーション、ガイダンス</p> <p style="text-align: right;">計 161.0</p>					
前年度からの 主な変更点						
担 当	計画管理部 管理科 (TEL:042-321-6947)					
備 考	<ul style="list-style-type: none"> ・テキスト代(予定)40,000円 ・人事院規則9-8(初任給、昇格、昇給等の基準)第39条第1号の対象研修 					